

「みんなで誇れる益田市に！」

山本 浩章 市長

Profile

昭和44年5月13日 滋賀県生まれ。

東京大学法学部卒業、結婚を機に益田市にIターン。

株式会社ひょうま前社長、益田青年会議所元理事長。

平成23年に益田市議会議員に初当選。平成24年から

益田市長。趣味は読書・音楽鑑賞・サイクリング。



益田市長選挙及び 益田市議会議員補欠選挙の結果

7月19日(日)に益田市長選挙と益田市議会議員補欠選挙が行われました。

当日の有権者数は 38,536 人、投票者数、投票率は以下のとおりです。

		市長選挙	市議会議員補欠選挙
投票者数	男	11,328 人	11,319 人
	女	13,336 人	13,333 人
	計	24,664 人	24,652 人
投票率	男	63.16%	63.11%
	女	64.73%	64.72%
	計	64.00%	63.97%

～新しい市議会議員～



齋藤 勝廣 (51 歳)
無所属 (新) ①
中島町

※数字は当選回数

先日の市長選挙の結果、3期目の市政運営に臨むことになりました。この度示された市民の皆様のご意思は、2期8年の取組と「対話と協調」という基本姿勢に対し、一定の評価を下さり、さらに精進せよとのことと受け止めています。これまで通りの真剣さで日々職務をまっとうしたいと考えています。

3期目の私の最大の課題は、益田市発展の流れを確実なものにすることであると位置付けています。これまで、各方面との連携および多くの方々のご理解とご協力により、萩・石見空港東京線2往復運航の継続決定や山陰道の整備進捗、スマートシティに関する先行モデル事業、「益田モデル」の商標を冠したテラヘルツ技術の実証実験、「中世日本の傑作」を謳う日本遺産認定など、今後の飛躍につながる基礎的条件が整ってきました。これらを土台とし、かつ確かな道筋をつけ、目に見える成果を一つひとつあげていきたいと強く期しています。さらには、魅力的な中高一貫教育の体制を整え、ライフキャリア教育と並ぶ二本の柱で「ひとが育つまち益田」を実現したいと考えています。

また、おりしも百年に一度の感染拡大とされる新型コロナウイルスと、年々頻度と激しさを増す自然災害は、いずれも市民の生命と財産、そして平穏な生活に対する大きな脅威であり、危機管理は特に重要な任務と考えています。日頃の備えを怠らず、いざ事あるときは全身全霊を傾注し、迅速かつ確に対処します。

厳しい財政状況を改善していくためにも、また今後見込まれる施設の老朽化等に対応するためにも、いっそうの行財政改革は避けられません。市民の皆様や議会にもご理解とご協力をいただくべく、入念な検討にもとづく説明に加え、必要に応じて協議も順次行なっていく考えです。

市民一人ひとりが益田に生まれ、暮らし、活躍の場を見出すことを誇りとする「益田プライド」を皆様といっしょに築き上げていきたいと強く念じております。いっそうのご理解とご協力をお願い申し上げます。